

児童図書研究室ニュース

福島県立図書館 <http://www.library.fks.ed.jp/>

2015.11

No. 87

《お知らせ》子どもの本に関する情報をお知らせします。

■ブックリスト『絵本はともだち』『本はともだち』

福島県立図書館



7月25日、11月3日に開催された“子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト 親子ふれあい読書フェスティバル”で、ブックリスト『絵本はともだち』、『本はともだち』を配布しました。『絵本はともだち』では、あかちゃんと一緒に楽しむ絵本、『本はともだち』では、子どもたちに伝えたい昔話や民話を紹介しています。

福島県内の公共図書館、公民館図書室に配布しますので、ご活用ください。

■小窓プロジェクト「福島の子どもたちの世界が広がる本 100 タイトル」

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局は、双葉郡の高校生の「いろいろな職業のプロに出会って自分の夢をつけられるような、『小さな窓』がたくさんあってほしい。」という言葉をきっかけに「小窓プロジェクト」を作ったそうです。小窓プロジェクトでは「福島の子どもたちの世界が広がる本100タイトル」を募集し、様々な職業の方から本が推薦されました。ホームページでは推薦した人から福島の子どもたち（中高生）に向けた本の紹介メッセージの一部を読むことができます。

小窓プロジェクト活動レポート（イノベーション東北）

<https://www.innovationtohoku.com/special/fukushima/report/>

◆小学校で図書館が利用されるとき 「国語」の教科書から

福島県内の小学校で今年度から使われている国語科教科書の中から、図書館や本の調べ方などについて記載がある部分を紹介します。学校や図書館でご活用ください。（現在の小学校教科書は平成30年度まで利用されます）

東京書籍

【1年 上】「ほんが たくさん」(p.14-p.15)

「としょかんって どんな ところ」(p.122-p.123)

【2年 上】「としょかんへ 行こう」(p.24-p.25)

「読んだ 本を 記ろくしよう」(p.101)

【2年 下】「本で しらべよう」(p.49-p.51) ※「もくじの つかい方」があります。

【3年 上】「図書館へ行こう」(p.24-p.25) ※「本のなかま分け」で本の分類が紹介されています。

「国語じてんのつかい方を知ろう」(p.32-p.35)

「聞いてみよう」(p.142-143) ※インタビューの対象として図書館が例示されています。

【3年 下】「目次やさくいんを活用しよう」(p.60-p.61) ※百科辞典や図鑑の調べ方が例示されています。

【4年 上】「図書館へ行こう」(p.22-p.23) ※本の分類について、「本についているラベルの三けたの数字のうち、いちばん左の数字が、そのグループを表しています」と紹介されています。

「漢字辞典の使い方を知ろう」(p.46-p.48)

【4年 下】「目的に合わせて調べよう」(p.66-67)※「①本で調べる ②人にたずねる」があります。

【5年】 「図書館へ行こう」(p.22-23)

※「図書館の本は、日本十進分類法(NDC)によって分けられ、整理されています。」と記載され、「自然科学」の「動物」の分類が紹介されています。

「さまざまな資料を活用しよう」(p.160-p.161)

※図表や写真などから情報を読み取る上での注意事項と、「リーフレット」、「年鑑」、「白書」、「統計資料」の紹介があります。

【6年】 「図書館へ行こう 読む」(p.24-25)

※「さがしている本が学校図書館がないときには、地域の図書館も活用してみましょう」

「全国のほとんどの図書館が、学校図書館と同じように、“日本十進分類法(NDC)”で本を整理しています。およその分類を覚えて、本をさがすときの手がかりにしましょう。」という記載があります。

光村図書

【1年 上】「ほんはともだち」(p.92-95)※図書館の様子が絵で紹介されています。

【1年 下】「本はともだち 本をえらんで よもう」(p.50-51)

【2年 上】「本の分けかた・ならべかた」(p.90)※「図書館の本は、みんながさがしやすいように、分けかたやならべかたがくふうされています。あなたの学校でもたしかめてみましょう。」という記載があります。

【3年 上】「言葉 国語辞典のつかい方」(p.25-27)

「本は友だち 本を使って調べよう」(p.88-103)

※「①図書館のくふうを知ろう。」、「②本を使って調べる方法を知ろう。」、「④“里山は、未来の光景”を読んで、もっと知りたいと思ったことを本で調べよう。」の項目があります。

調べる本として「辞典」、「図鑑」、「科学読み物などの本」の紹介があり、「目次」と「さくいん」の使い方が紹介されています。

「本の分類表」(p.103)が掲載されています。

【3年 下】「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」(p.96-p.102)

※「ことわざについて調べよう」というテーマです。

【4年 上】「漢字辞典の使い方」(p.28-p.31)

「読みたい本の見つけ方」(p.101)

※「ふだんの生活の中でさがす」、「読んだ本をもとにさがす」、「図書館でさがす」、「書店でさがす」の項目が挙げられています。

【4年 下】「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」(p.94-p.101)

※「わたしの研究レポート」というテーマです。「②本を使って調べよう。」では、「百科辞典や図鑑などを使って調べましょう。」と書かれています。「調べる本をさがすときには」には、「図書館で本をさがす」、「本の中をさがす」、「司書の先生に相談する」の三つが挙げられています。

【5年】 「漢字の広場 4年生で習った漢字1」(p.33)

※「図書館の人になったつもりで、本の場所や図書館の使い方などについて説明してみましょう。」という記載があります。

「新聞を読もう」(p.36-p.41)

※「見出し」、「目次」、「リード分」、「面」など、新聞のつくりが例示されています。

「本は友達 広がる、つながる、わたしたちの読書」(p.70-p.83)

※「①本をすすめるための方法を知ろう。」では、書店の例として「本のポスター」、「ポップ(広告カード)」、「本の帯」、図書館の例として、「特設コーナー」、「ブックトーク」が紹介されています。

「グラフや表を用いて」(p.149-p.153)

※「資料をさがすとき」に、『日本のすがた 2013』(矢野恒太記念会)、『現代用語の基礎知識 学習版』(自由国民社)が紹介されています。

【6年】 「本は友達 私と本」(p.54-72)

※「①これまでにどんな本に出会ってきたかをふり返ろう」には、「学校図書館で、出会った本を思い出そう。」という記載があります。

★ 教科書の本の紹介ページに掲載されている本の情報は、『福島県立図書館小中学校国語科教科書紹介図書所蔵一覧』 <<https://www.library.fks.ed.jp/ippan/jiken/textbook.htm>>でご覧いただけます。